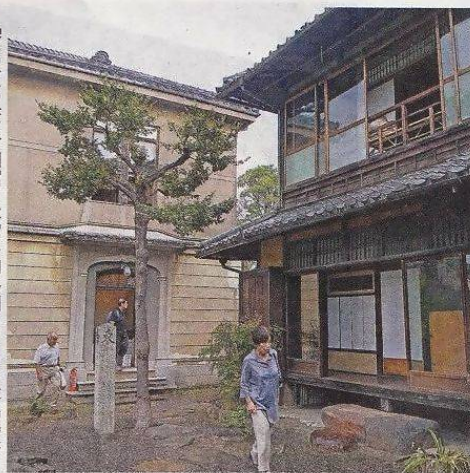


衣笠絵描き村の先駆

木島櫻谷の邸宅 初公開

芸術テーマの観光 注目

大正時代以降に多くの画家が住み、「衣笠絵描き村」と称された京都市北区の衣笠地域で、地域の先駆となった日本画家・木島櫻谷の邸宅「櫻谷文庫」が30日まで、期間限定で初公開されている。合わせて、同地域の「堂本印象美術館」を訪れる人も多く、芸術をテーマにした観光として注目されている。



「京の夏の旅」で和館と洋館を初公開している木島櫻谷の邸宅。京都市北区等持院東町・櫻谷文庫



大正時代の特徴がうかがえる洋館内に、数々の作品が展示されている



※地区は大正2年当時。木島櫻谷以外は、その後に住居。

「夏の旅」の一環 ゆっくり日本画鑑賞

現在、常時見ることのできる施設は少ないが、国の登録有形文化財の櫻谷の邸宅が「京の夏の旅」として、30日まで、金、土、日、祝日（午前10時～午後4時）に公開されている。有料。和館には生活品が展示され、所々に櫻谷のデザインが施された洋館では作品をゆっくり鑑賞できる。初公開の施設とあって来場者に好評で、機会があれば今後も公開を検討するという。

明治から大正、昭和にかけて活躍した木島櫻谷は大正2（1913）年、中京区から旧衣笠村に創作活動の場を移した。それをきっかけに土田麦僊、金島桂華、山口華楊、村上華岳、菊池芳文、堂本印象、小野竹喬ら名たる画家が移り住み、衣笠は絵描き村と呼ばれるようになった。

明治から大正、昭和にかけて活躍した木島櫻谷は大正2（1913）年、中京区から旧衣笠村に創作活動の場を移した。それをきっかけに土田麦僊、金島桂華、山口華楊、村上華岳、菊池芳文、堂本印象、小野竹喬ら名たる画家が移り住み、衣笠は絵描き村と呼ばれるようになった。

福知山市治水記念館（福知山市）

福知山の治水の歴史を学べる治水記念館（福知山市下柳）



文化
観光

在だ。「京の夏の旅」を主催する、京都市観光協会は「画家関連の施設は、竹内栖鳳の旧邸を改装したレストラオンや銀閣寺近くにある白沙村荘橋本関雪記念館などもある。芸術をテーマにした観光をPRしたい」としている。（仲屋聡）